



想いをつなぐ未来へ



飯塚ロータリークラブ50周年

1969年に発足した飯塚ロータリークラブは、今年で創立50周年を迎えました。地域の皆さま、お客さま、家族、そしてロータリークラブのOBの皆さまへの感謝の気持ちとともに、この想いを未来へつなぐために何か楽しく役に立つことをしたい、ということでも50周年記念事業として3つのプロジェクトが発足しました。「タイムカプセルの夢を伝える」「50周年記念コンサート」という事業とともに、学生と地域をつなぐ「つなぐプロジェクト」という事業が現在遂行中です。

学生と地域をつなぐ「つなぐプロジェクト」

飯塚市には、「近畿大学」「九州工業大学」「近畿大学九州短期大学」という3つの大学があり、多くの学生がこの地で勉学に励んでいます。アルバイトや地域イベントへの参加等を通じて多くの学生が地域の方や企業との交流を行う一方で、地元企業との関わりが薄いままで卒業・就職していく学生もいるのが現状です。

そこで、学生と地域をつなぐ「つなぐプロジェクト」が発足。このプロジェクトは、「大学生が飯塚のまち・ひと・企業とつながり、将来根付いていくには？」というテーマのもとに、飯塚ロータリークラブが市内の3大学の学生たちに参加を呼びかけ、1チーム5名以上で企画の立案をしていただきました。

飯塚ロータリークラブのホームページやチラシで参加を呼びかけた結果、10チーム以上ものエントリーがありました。

各々のチームが学生ながらの斬新かつ大胆な企画を立案され、中でも特に秀でた6チームの皆さんには、本戦として嘉穂劇場にて企画のプレゼンテーション大会に参加をしていただきました。昨年10月に行われたプレゼンテーション大会では、どのチームも堂々としたプレゼンテーションを行い、一般のお客さまも多く来場されていた会場は大いに賑わいました。

その中で「超短期インターンシップ事業」というコンセプトのもとプレゼンテーションを行ったチームが見事優勝し、表彰とともに実際にプロジェクト実現に向けて活動いただくこととなりました。

このチームの企画コンセプトは、「様々な企業が学生に向けてインターンシップを行っているが、短期と言われるものでも一日から数日単位のものも多く、学生側からも『ちょっと覗いてみようかな』といった感覚で参加しづらい現状がある。そこで例えば90分単位くらいでインターンシップの前に気軽に参加できるような超短期インターンシップのようなものがあれば、その後のインターンシップにも臨みやすく、これまで以上に自然と学生と企業との交流が生まれ、大都市に集中しがちな就職や雇用状況の面でも変化が見られるのでは」といったものです。

「超短期インターンシップ」改め「業種・職種体験事業」の実践

「超短期インターンシップ」という企画の実践において、現実的には1、2時間程度ではインターンシップの機能を損なうという事で、今回は「業種・職種体験」と改め、今年2月4日から8日にかけて、飯塚市の17の企業を24名の学生が多種多様な事業者を訪れ、感受性豊かな学生目線から見学・体験をしていただきました。

今回は経営やビジネスを専攻している学生が多く、養蜂場を訪れた学生からは「養蜂という事業をビジネス化・収益化する為に尽力された点はどこですか」「同業他社と比べてビジネスモデルの観点から特徴のある取り組みは何かありますか」といった質問がされ、飲食イベント事業を行っている広告代理店では「飲食イベントはイベントの運営と出店という2つの側面がある事業だと思いますが、それぞれの立場から成功と呼べるイベントとなるためにはどのような目標設定が必要ですか」「必ずしも収益面で魅力のあるイベントとならない場合でも、参加する事自体に意義または価値のあるイベントはありますか」等、日頃学んでいる講義やゼミのテーマに基づいた内容の質問が多くありました。

その中でも「近大オリジナルブレンドコーヒー」の開発と販売に携わっている学生からは、「蜂蜜とコーヒーのコラボレーション商品の企画は考えられそうですか」「フードイベント開催時にコーヒーの提供・販売は検討できますか。スポンサーを見つける工夫などありますか」など、自分たちで開発した製品の露出と販路拡大について非常に積極的な意見も出され、一層盛り上がりを見せた場面もありました。

インターンシップを終えて

今回のプロジェクトに参加した学生からは、「友達に誘われての参加だったが、短時間で多くの企業を見学できて純粋に面白かった。当たり前のことかもしれないが、飯塚にこんなに興味深い企業がたく

さんあるなら、卒業するまでの間に一社でも多く見学してみたい」「就職する学生の中には『なんとなく』といった理由で福岡や東京に出ていってしまう人もすごく多いと思う。在学中には有効に活用できる時間も多くあると思うので、例えば予約なしでもふらっと見学できる企業リストみたいなものがあれば、すごく強固な企業と学生のネットワークが構築できるのでは」といった学生の率直な感想を聞くことができました。

また、参加企業からは「最近の学生はクールな子が多いと思っていたが、どの子もとてもアクティブで普段からしっかり勉学に励んでいるんだという印象を受けた。私達は大学生が在学中に年単位でコミュニケーションが取れる環境にあるのだから、このチャンスぜひ活用していきたい」といった感想や、「学生の真面目な意見の中には、私達が驚くような発想が飛び出すこともある。一見突拍子もない内容に思えることも、実はこれからの時代やニーズにマッチングしていることかもしれないので、積極的に耳を傾けて、できれば学生と一緒に物事を進めていきたい」という非常に建設的な意見も見られました。

地域のみなさまへ

今回、飯塚ロータリークラブと地域の大学生らとで共に創り上げた「つなぐプロジェクト」。このプロジェクトは昨年飯塚市で起動した「つなぐカフェ@飯塚」の応援プロジェクトとして企画されたものです。これからの未来、きっと良い取り組みとなっていくことを強く期待して、今後もしっかりと向き合っていきたいと感じています。

飯塚ロータリークラブが50周年を迎えられるのも皆さまのおかげです。50周年は100年への第一歩です。2019年の新たな未来へ向け、これからの飯塚の発展のために会員一丸となって全力を尽くしてまいります。

飯塚ロータリークラブ
多田 務

飯塚ロータリークラブ
50周年記念
コンサート **未来へ**
森山良子 秋川雅史
with 村上ゆき
and 地域の音楽家や子どもたち
2019年4月6日(土) イヅカコスモスコン 大ホール
開場 | 15:00 開演 | 16:00 Ticket | S席 6,500円 A席 5,000円 Play guide | イヅカコスモスコン(0948-21-0505)・チケットぴあ(Pコード:138-055)
主催 | 飯塚ロータリークラブ 共催 | 公益財団法人 飯塚市教育文化振興事業団 後援 | 飯塚市・嘉麻市・桂川町
お問い合わせ | イヅカコスモスコン(0948-21-0505)

過去から現在へつなぐ
タイムカプセルの夢を伝える
30周年記念事業で環境保全を目的に遠賀川源流の森の植樹を行った際に埋めたタイムカプセル。世紀をまたぎ、本年度掘り起こして回収。その後、持ち主に返却し、その方たちから現在のそれぞれの想いが届いています。

学生と地域をつなぐ
つなぐプロジェクト
学生と地域をつなぐプロジェクト。飯塚市内の3大学生による「大学生が飯塚のまち・ひと・企業とつながり、将来根付いていくには?」をテーマに、昨年10月嘉穂劇場にてプレゼンテーション大会が行われました。